

地理

問題 I

〔出題の意図〕

流域は、陸上における水の移動やそれを介した物質の移動、地形変化を考える際の基本的かつ重要な空間的枠組みである。問 1 は河床縦断面図の判別と、日本と世界の河川の特徴を答える問題である。問 2 は天竜川流域の地形図の読図と、砂浜海岸の侵食を考える問題である。地形図の正確な読み取りに加え、河川の働きや流域全体を俯瞰した思考が問われている。

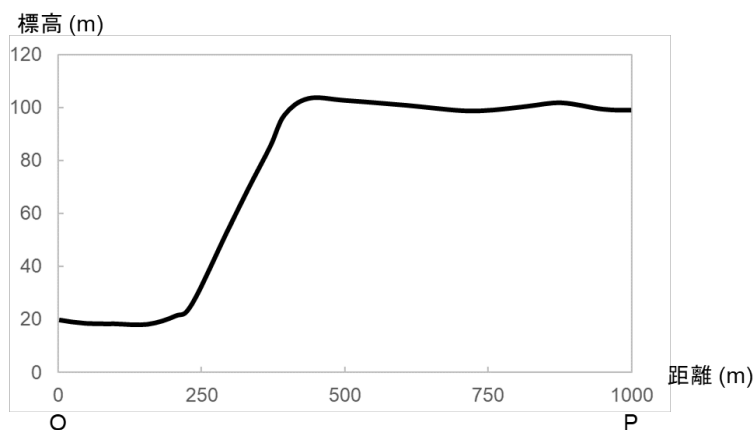
〔解答例（解答のポイント）〕

問 1

- (1) A：常願寺川 B：木曾川 C：セーヌ川 D：コロラド川
E：メコン川
- (2) 世界の河川と比較して、日本の河川は急勾配で短い点、流量の季節変化が大きい点などを考慮して解答を導く。

問 2

- (1) V 字谷
- (2) 山地を流れる河川の侵食と運搬作用、周囲の斜面での山崩れや地すべりの発生に着目しながら解答を導き出す。
- (3)



- (4) O 付近の低地は水田，段丘崖は針葉樹林，段丘面上の P 付近は茶畑として利用されている点などに着目しながら解答を導く。
- (5) 上流域でのダム建設と運搬土砂量の減少，それに伴う海岸侵食の進行，離岸堤による海岸侵食の防止など考慮して解答を導く。

問題Ⅱ

〔出題の意図〕

本問は，世界の諸地域の水産業，および海運についての基礎的知識を問うたものである。水産業は，気候変動の影響による漁獲量の変動，乱獲による魚の減少など，簡単に解決できない問題も多い。その一方で，海の魚が減少することによって養殖が増加するなどの現象が見られる。海に関する経済活動は水産業に限らず，海運，造船，船用工業など多岐にわたる。特に日本は，国土は狭いが，世界第6位の広い海（領海と排他的経済水域）を有する「海洋国家」であり，貿易量の約99.6%の輸送を海運が担っている。日本は，エネルギー資源，工業原料，生活物資の多くを海外からの輸入に頼っている。私たちの生活と海はとても密接な関係にあることを理解して欲しい。

〔正解・解答例〕

問1

- (1) ア：汽水面養殖　イ：内水面養殖　ウ：海面養殖

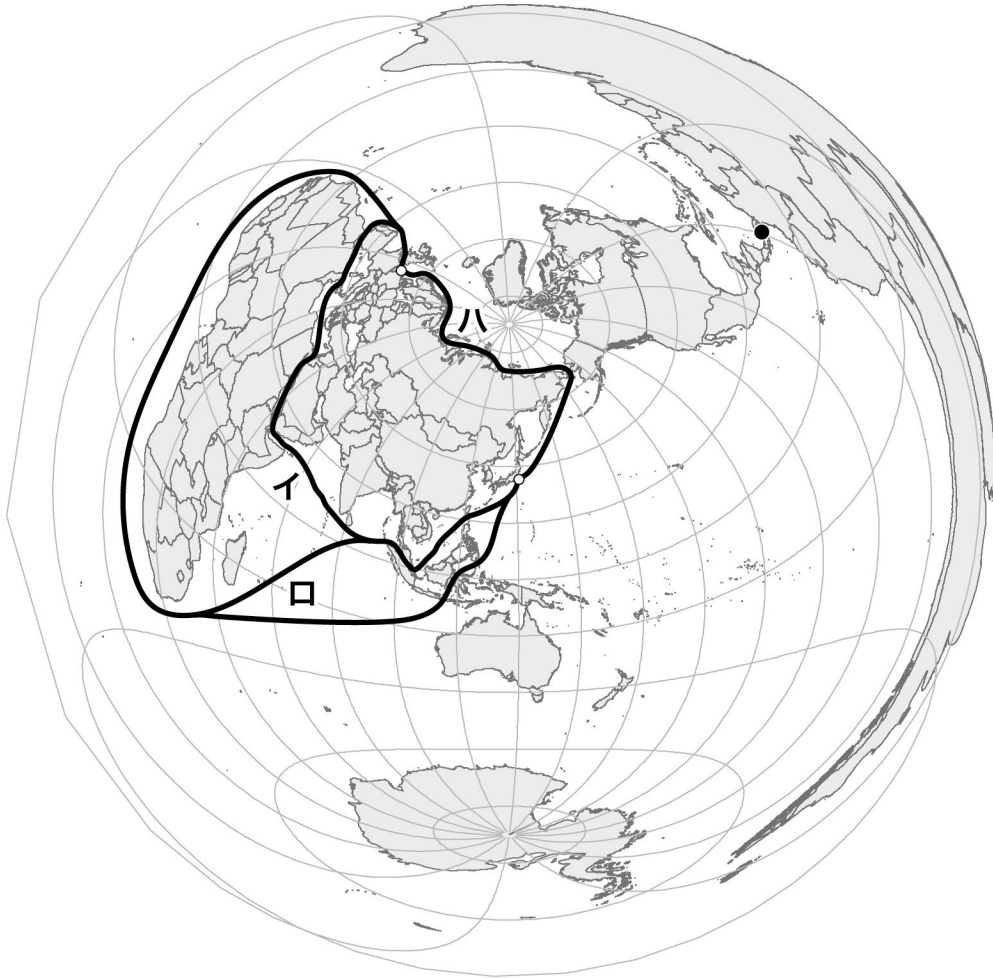
判断の理由：アは沿岸汽水域でエビの養殖が多いのがインドネシアの特徴であり，イは河川や湖沼での淡水魚の養殖が多いのが中国の特徴であり，そしてウはリアス式などの入り江における海面養殖が多いのが日本の特徴であるから。

- (2) A：日本　B：アメリカ合衆国　C：インドネシア　D：中国

- (3) ペルー沖合では南緯30度付近から赤道付近に向かって南東貿易風が吹くことにより，海流は東から西へと流れる。表層の海流が西へと流されるため，それを補うために深海から冷たい海水が湧き上がる湧昇流が発生する。そのためペルー沖合の海水温は低い。しかし何らかのきっかけで南東貿易風が弱まると，東から西への海流が弱まり，表層の海水を補う湧昇流も弱まるために海水温が上昇する現象がエルニーニョである。

- (4) アンチョビ（アンチョビー，カタクチイワシでも可）。フィッシュミール（魚粉）に加工され，主に家畜の飼料や農作物の肥料に加工される。

問2 (1) (2)



※ロの航路は、マラッカ海峡もしくはロンボク海峡のどちらでも正答とする。

(3) あ : G い : H う : N え : M
お : L か : K き : D く : F

(4) 近年の地球温暖化により北極海の海水温が上昇し、夏の海氷面積が減少したことにより、航海の難しさが軽減された。

(5) ソマリア沖・アデン湾において、海賊行為が頻発しており、商船が狙われる事故が頻発している。(マラッカ海峡でも可)

問題Ⅲ

〔出題の意図〕

本問は、資源と産業に関する大問であり、貿易を介して日本とつながりが強い国々における地理的事象について問うた。具体的には、アメリカ合衆国との間で生じた貿易摩擦が日系企業の立地戦略に与えた影響（問 1～3）、オーストラリアにおける資源の地理的分布、アジア地域との経済関係の特徴（問 4～6）、中国における日系企業の直接投資の特徴（問 7～8）、韓国の高度経済成長の背景（問 9～10）についてそれぞれ問うた。

〔解答例（解答のポイント）〕

問 1 アメリカ合衆国

問 2 自動車

問 3 生産拠点を国内から海外へと再配置し、現地で生産した自動車等を供給するようになった点を考慮して解答を導く。

問 4 オーストラリア

問 5 ①：石炭 ②：鉄鉱石

〔産出地の地理的分布の特徴〕

①は古期造山帯の分布するオーストラリア東部（グレートディヴィアイディンク山脈付近）で、②は安定陸塊の楕状地がひろがる西部ピルバラ地区付近で、それぞれ多く産出される点を考慮して解答を導く。

問 6 1973年に旧宗主国であるイギリスが EC に加盟したことを契機として、距離的に近いアジアとの関係を強くした点、白豪主義の撤廃後にヨーロッパ以外の国々からも移民を受け入れるようになり、アジア地域との人的結びつきも強まった点を考慮して解答を導く。

問 7 中国

問 8 日本企業が労働賃金の安い中国に工場を建設して、現地で製品を生産し日本へと輸出するという供給体制を構築した点などを考慮して解答を導く。

問 9 韓国

問 10 1960年代前半まで農業国であった韓国がアメリカ合衆国や日本の経済協力により輸出指向型の工業化政策を推進した点、工業化政策の結果、1960年代後半から 80年代にかけて造船業や鉄鋼業などの重工業が発達した点などを考慮して解答を導く。